窪田（くぼた） 裕二（ゆうじ） 議員



問 令和8年6月に常任委員会として、商工会役員との意見交換を開催し、多くのご意見を伺った。

前町長との行政施策や継続事業の考え方等の意見が多く聞かれたが、中原町長はどの様に考えているか。

①今後の和寒町応援大使の活用方法は。

②特養跡地利用の検討は。

③今後、こどもの国の計画は。

④人口減少問題での施策は。

中原町長

答 ①和寒町の宣伝、町の有益な情報収集、提供や助言、事業への協力などとしている。

また、経費等に関しては画一的な取り決めは難しいと考える。

②提案があれば企業や団体の活用も検討する。

③当面、小規模の修繕であれば延命に努めるが、運営について検討する。

④生活環境を整え、移住定住施策の充実を図り、時代に即した新しい地域社会の継続可能なモデルを町民と共に構築していく。

中原町長が考える今後の施策は

持続可能なモデルを構築



▲どんとこいわっさむ夏祭りで抽選するあとむさん

Topic 議会

わかりやすい議会だよりを目指して



▲広報の基本から改めて学びました

8月18日、ポールスター札幌で行われた北海道町村議会主催の広報研修会に参加しました。

「議会の見える化＆住民との信頼関係―議会広報の基本と編集」の講演がありました。

今後も、議会を身近に感じ、わかりやすく、興味が持てる誌面づくりに努めます。

課題解決を目指し3町議会で意見交換

8月28日、幌加内町で3町議会（剣淵町、幌加内町、和寒町）議員研修会を開催しました。

幌加内町地域力創造アドバイザー染谷和臣（そめやかずみ）氏による「関係人口を、力に変える」の講義を受けました。

その後、議員間の意見交換会がありました。

今後も近隣自治体の発展のため、合同議員研修や意見交換会を行っていきます。



▲研修会で新たな学びを得ました